

ぶらり

奥州散歩道

Vol. 32

豊とよ田たの館たち跡あと
(江刺区岩谷堂字下苗代沢)



①石畳の見学路を奥へと進む
ほど、中世の山城のような雰
囲気が感じられる②市指定文
化財の「豊田城跡碑」。高さは
2・1メートルほどで、安永3(1
774)年の建立。近くには
文字の解説板があって便利



③埴仏は寺院の壁画や大仏の
光背などを飾る仏像。本品は
頭部が欠けている。12世紀の
製作とみられるが、この時期
の国内には類例がなく、豊田
館が居館としてのみならず、
特別な信仰の場であったこと
も考えられる(えさし郷土文
化館所蔵)



江刺・胆沢平野を一望でき
る丘陵上に位置する豊田
館跡は、みちのくの歴史に輝く
平泉の世紀を築いた奥州藤原氏
の初代当主、清衡の居館跡と伝
えられています。鎌倉幕府の公
式記録である『吾妻鏡』に、清
衡が江刺郡豊田館を磐井郡平泉
に移したことが記されているこ
とから、平泉に都を築く以前は
江刺を拠点としていたことがう
かがえます。

清衡の政治拠点を示す建物跡
などは今のところ発見されてい
ませんが、丘陵を整地した平場
の傍らには、江戸時代の石碑
(市指定文化財)が残っています
。当時の餅田村の住民が、こ
の場所が豊田館跡であることを
後世に伝えるために建てたもの
です。現在の豊田館跡は旧江刺
市が整備したのですが、その
景観はやはり地元住民の尽力に
よって守られています。



豊田館跡から半径1キロ以内
には、清衡が社殿を修築し、宝庫
を建造して武具を奉納したと伝
えられる鎮岡神社、清衡の産湯
を汲み取ったと伝えられる走湯
稲荷神社、清衡の父・経清とそ
の従者を弔うために造られたと
いわれる五位塚墳丘群などがあ
ります。さらに、中国産の白磁
四耳壺や、近年の発掘調査で出
土した12世紀の埴仏などの考古
資料は、この地域一帯が平泉前
史と深く関係していたことを物
語っています。

前九年・後三年の合戦という
戦乱の中で数奇な半生を過ごし、
争いのない平和な世を希求した
藤原清衡。豊田館が建つ丘陵か
ら見下ろす雄大な大地に、清衡
は何を感じていたのでしょうか。
そして後輩のわたしたちは、何
を感じ取るのでしょうか。

◆問い合わせ先 へさし郷土文化
館 (☎ 01600) へ



新築・リフォーム
住宅に関するご相談は
お気軽に。

家族を守る、激震に耐える強い家

震度7に耐える丈夫な家が、あなたの家族と財産を守ります。

松下電工の住宅工法
テクノストラクチャー
全棟構造計算書付！

木造住宅の常識を超える「新工法」。

木の温もりと鉄骨の強さを併せ持つオリジナル複合梁と接
合金具を使用し、邸別に構造計算を行うことで、いつまでも
安全で安心できる家を提供いたします。

高惣建設株式会社 〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号
TEL:0197-22-3111 FAX:0197-22-3120

お問合せ
ご相談は

☎ 0120-516-812
<http://www.takasou.net/>